

平成 29 年度 群馬県自然保護連盟の活動

発表者 : 谷畑 藤男

所 属 : NPO 法人 群馬県自然保護連盟

”群馬の自然は宝物”自然はみんなのものです

『自然は一旦破壊したら元に戻すことは不可能です』このことは現代人なら誰もが知っていることです。この群馬の自然を破壊から救うのは、今からでも決して遅くはありません。

山々には美しい草花が咲き、野鳥のさえずる群馬、こうした自然環境を維持するためには、私たち県民一人一人が自然と人間との調和を理解し、幅広い保護思想を高めることこそ必要な施策ではないでしょうか。(入会のしおりより)

○ 保護活動

場 所 (月日)	テーマ	参加者	備考
赤城山麓 (5・14)	サクラソウ個体 (株) 数調査	28 名	サクラソウの観察と株数調査 (図 1)
野反湖・弁天山 (8・11)	絶滅危惧種の植物や高山蝶の生態を学ぼう	26 名	蝶の足を確認する (図 6)
谷川・湯檜曾川 (8・20)	特定外来植物 (オオハンゴンソウ) 駆除活動を学ぶ	26 名	オオハンゴンソウ 350 k g 駆除 (図 7)
妙義山・石門めぐり (11・19)	雑木林の紅葉や地形地質を観察しよう	名	今後実施
多々良沼・ガバ沼 (12・2)	湖沼に見られる水鳥と緑化センター内の樹木を観察しよう	名	今後実施

○ 自然観察会

場 所 (月日)	テーマ	参加者	備考
赤城五輪尾根 (5・29)	新緑の森と野鳥観察	21 名	
伊香保森林公園 (6・18)	新緑のヤマツツジやカエデ類を観察	28 名	幹にもいろいろな植生がある (図 2)
赤城水源の森 (7・30)	溪流の生物や昆虫に親しみ観察	18 名	水生生物を分類する (図 5)
ブナ平から玉原高原 (9・3)	初秋のブナ林と高原の植物を観察	35 名	キノコを観察 (図 8)
関東の耶馬溪 吾妻溪谷 (10・15)	ダムの完成前に紅葉の観察。自然のあるべき姿を考えよう。	名	今後実施

○ その他・・・自然観察教室 (図 3・4)、けいはつ活動、環境調査、会報「群馬の自然」発行など



図1 サクラソウ調査 (2017・5・14)



図5 赤城水源の森 (2017・7・30)



図2 伊香保森林公園 (2017・6・18)



図6 野反湖・弁天山 (2017・8・11)



図3 筑波山観察教室 (2017・6・4)



図7 湯桧曾川保護活動 (2017・8・20)



図4 白馬観察教室 (2017・7・22)



図8 玉原ブナ平 (2017・9・3)